



べにまる

「輝きを未来に」

- 自ら学ぶ子
- 思いやりのある子
- 最後までやりぬく子
- 体をきたえる子

令和3年6月30日

発行責任者 松原 康雄

運動会 ～応援ありがとうございました～

松原 康雄

今年は6月21日が夏至で、昼の時間が一年で一番長い一日でした。留寿都では日の出が3:59、日の入りが19:19で、冬至に比べると6時間15分も長いです。太陽も頭上近くを通り日差しも強く、これから夏本番を迎えます。野山の植物や農作物には大切な日の光ですが、皆様は熱中症にならないように十分お気をつけ下さい。

さて、13日(日)に、絶好のコンディションのもと、令和3年度の運動会が行うことができました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止となり、今年度も変則的な形での開催となりましたが、子どもたちの精一杯競技する姿を見ることができました。種目は限られていましたが、学年が上がるにつれて子どもたちが運動会の進行に関わる場面も増え、それぞれが掲げていた目標に向け努力をする姿が見られました。また大波小波の競技では、コーンを素早く回るにはどのようにすれば良いか工夫をするなど、運動会を通してでしか得られない経験が子どもたちを成長させたと思います。保護者の皆様には各ブロックの競技終了ごとに観覧場所をお譲りいただいたり、拍手で応援していただいたりのご協力ありがとうございました。

今年度は授業の中でタブレットパソコンを活用している姿が多くみられるようになってきました。子どもたちはパソコンの操作について抵抗がないようです。1年生も各々がアサガオの成長を写真に撮り、その画面を拡大したりすることで小さな違いなどに気づき新たな発見をしています。中学年では運動会の感想をパソコンでまとめるなど、いずれ自分たちで調べたことをまとめ発表するための素地を養っています。高学年になると学習の理解を助けるための動画をみたり疑問に思ったことを自主的に調べたりするなど活用の幅を広げています。授業の中でパソコンを文房具のように自然に扱い、効果的な活用ができるようにこれからも研究を続けて参ります。



一日延期で運動会

6月13(日)に留寿都小学校グラウンドで、運動会を行いました。今年度は、前月号でふれたように、規模を縮小しての開催でした。昨年は中止だっただけに、開催できただけでも嬉しいという声が、保護者から聞かれました。本来は12日(土)の予定でしたが、雨予報なので1日延期し、穏やかな晴天のもと無事に行うことが出来ました。



5年生家庭科

地域ボランティアの「みやこ会」の方々に協力いただき、5年生の家庭科「裁縫」の支援をしていただきました。針と糸をつかった手縫いの学習で、初めて行う5年生に丁寧に教えてもらいました。子供達も、玉結び、玉どめ、波縫いなど基本的な手縫いの技術を習得できたようです。

